

# avancer 「アヴァンセ」

平成 30 年度第 7 号

平成 30 年 10 月吉日 副理事・所長 海老澤政昭

ようやく台風から解放される季節に近付きました。同時に、山々が紅く染まり始めてくると、20 代の頃に読んだ詩を思い出します。知的障害のある小学生の子どもたちと先生が日々の生活の中で気付いたことを詩にしたものです。その中で特に好きで、今も頭の片隅に居座り続けている詩があります。タイトルは「落ち葉ひろい」。子どもたちを連れて落ち葉ひろいに行き、その中で、先生は真っ赤に燃えるきれいな落ち葉と黒ずんだ朽ちた葉の両方を見せ、「どっちがきれい？」と聞きます。この子は、迷わず朽ちた落ち葉を指さしました。先生は“ああ、ああ、そうかもしれない。朽ちた落ち葉にこそ、真実、秋の心があるのだから”と気付きます。私たちは、日常生活の中で、同じような繰り返しをしつつ、目の前にある真実に気が付かないことが多いです。時間が流れるのが速いですね。よく“毎日車で通る道を歩いてみると、いろいろな発見がある事に気付きますよ。”なんてことを言われます。意識して、時間の流れをゆっくりにし、人とかわることを大切にしたいものです。

第 5 回のごうでいんぐ感謝祭に向けて子どもたちや仲間たちが取り組んできた様々な作品等がごうでいんぐ原田に展示されています。時間を見つけて御覧になってください。



<福祉まつりを終えて>

秋晴れの中、第 38 回市民福祉まつりが行われました。今年では来場者数も多くゴウディングコミュニティの焼きそばやフライドポテトに沢山の行列もできました！また仲間たちのオリジナル缶バッジも好評でほぼ完売でした。お手伝い頂いた理事の方々、そして職員の皆様、お買い求め頂いた来場者の皆様大変ありがとうございました。今年もクリスマスプレゼント♪が仲間たちへ届くことを楽しみにしてください。



## 【編集後記】

暑い日が続いていたと思えば急に寒くなり、体調管理に気をつけていきたい季節になりましたね。10 月のごうでいんぐは、市民福祉祭りに参加したり、11 月 3 日(土)に行われる感謝祭の準備をしたりと大忙しでした。このにぎやかな中で、子ども達も、仲間達も元気に過ごすことができました。みんな、行事は大好きですね。

担当 原田デイ 外山